

2020年度 女子学院中学【算数】大問5

下のように、AからPまでに、ある整数が入っている表があります。
この表に、次の規則に従って○か×の印をつけます。

- ① AからPまでの数の1つに○をつけ、
その数と同じ行、同じ列に並んでいる印のついていない数すべてに×をつける。
- ② 印のついていない残りの数の1つに○をつけ、
その数と同じ行、同じ列に並んでいる印のついていない数すべてに×をつける。
- ③ もう一度②を行い、残った数に○をつける。

	1 列 目	2 列 目	3 列 目	4 列 目
1行目	A	B	C	D
2行目	E	F	G	H
3行目	I	J	K	L
4行目	M	N	O	P

この表の一部の整数は、
右のようになっています。

A	12	C	D
E	15	G	9
8	J	9	L
M	N	15	11

この表では、どこを選んで○をつけていっても、①から③の作業をした後に
○をついた数の和がいつでも同じになることが分かりました。

〔 〕にあてはまる数を入れなさい。

(1)

①から③の作業をした後に○をついた数は全部で〔 〕個あり、
それらの数の和はいつでも〔 〕です。

(2)

Aに入っている数は〔 〕、Gに入っている数は〔 〕です。

(3)

この表に入っている一番大きい数は〔 〕、一番小さい数は〔 〕です。

